

公民科学習計画書

()年

科目	単位	学科	コース	教科書
現代社会	3	普通科	2年ビジネスコース	高等学校新現代社会（第一学習社）
年間到達目標				
① 青年期の意義や特徴を理解させる。 ② 日本国憲法で保障されている人権や立法・司法・行政機関、地方自治の内容や課題を理解させる。 ③ 国家を基本単位としている国際社会の現状や戦後を中心とした国際政治の動向を理解させる。 ④ 企業・市場・財政政策・金融政策など、経済の基本的知識を理解させる。また、労働者のおかれている現状と課題を理解させる。				

月	教科書の単元・章・項 補助教材等	学習内容及び到達目標	評価方法	評価の観点
4	第2編現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章青年期と自己の形成 (1) 青年期とは (2) 青年期を充実させるために (3) 自立に向けて (4) 伝統や文化との関わり (5) 社会とのかかわり (6) 私たちのいきがい	第1章 ・青年期が人生の中でどういう意味を持つのか考える。 ・青年期の心理状態の特徴を理解する。 ・自我の確立とはどういうことか理解する。 ・自立の前提としての職業選択、社会参加の重要性を理解する。 ・現代が生涯学習を求める社会であり、それが生きがいと結びついていることを理解する。		・青年期のもつ意味を理解できたか。 ・青年期の過ごし方が人生に大きな影響をあたえること、そのためにもその特徴を理解することができたか。
5	第2章個人の尊重と法の支配 (1) 個人と国家 (2) 基本的人権と法の支配 (3) 世界の政治体制	第2章 ・国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。 ・基本的人権が保障されるにいたった経緯を理解する。 ・世界の主な政治体制を理解する。	第1回定期考査	・近代民主国家の形成、基本的人権とその国際的保障、おもな政治体制などを理解できたか。
6	第3章現代の民主政治と政治参加の意義 (1) 日本国憲法の基本原理 (2) 平和主義と日本の安全保障 (3) 冷戦終結後の防衛問題 (4) 平等に生きる権利と自由に生きる権利	第3章 ・日本国憲法の成立過程、基本原理を理解する。 ・憲法の平和主義登場の背景とその果たしている役割、自衛隊成立の理由と政府の9条解釈の変遷を理解する。 ・日米安保条約成立の背景と、冷戦終結後の日米安保体制の変容を理解する。 ・平等権、自由権について理解する。	第2回定期考査	・日本国憲法の成立過程と三大原理を理解できたか。 ・平和主義登場の背景とその役割、自衛隊や安保条約などの日本の安全保障の現状を理解できたか。 ・自由権、平等権について理解できたか。
7	(5) 豊かに生きる権利 (6) 新しい人権 (7) 基本的人権と公共の福祉	・社会権について理解する。 ・新しい人権が登場してきた背景と内容について理解する。 ・公共の福祉とは何か、それにより人権に一定の制約があり得ることを理解する。		・社会権について理解できたか。 ・新しい人権登場の背景と内容を理解できたか。
8	(8) 国会の運営と権限	・議会制民主主義の原則、国会の権限、衆議院の優越について理解する。		・国会の役割や権限などを理解できたか。
9	(9) 内閣と行政の民主化 (10) 裁判所と人権保障 (11) 法と私たちの生活	・議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限について理解する。 ・司法権独立の必要性、最高裁判所の役割について理解する。 ・司法への国民参加の必要性について理解する。	第3回定期考査	・内閣の役割や権限などを理解できたか。 ・裁判所の役割や権限などを理解できたか。

月	教科書の単元・章・項 補助教材等	学習内容及び到達目標	評価方法	評価の観点
9				
10	(12) 地方自治と住民の福祉 (13) 選挙制度の現状と課題 (14) 世論の形成と政治参加	・地方自治に関して住民はどのような権利をもっているか、地方自治の課題を理解する。 ・選挙制度や選挙の現状と課題を理解する。 ・世論の果たす役割と政治参加の重要性を理解する。		・地方自治の意義や役割などを理解できたか。 ・選挙や選挙制度の現状と課題を理解できたか。

11	<p>第4章 国際政治の動向と日本の役割</p> <p>(1) 国家主権と国際法</p> <p>(2) 国際連合の役割</p> <p>(3) 第二次世界大戦後の国際社会</p> <p>(4) 冷戦終結後の国際社会</p> <p>(5) 核兵器の廃絶と国際平和</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の世界が主権国家を単位に構成され、国際法が国際社会を律する法として機能していることを理解する。 ・国際連合の役割やその課題を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際政治の動きを理解する。 ・冷戦終結後の国際社会の新たな課題を理解する。 ・核兵器廃絶が国際社会の重要な課題であるとともにその実現を阻む要因を理解する。 	第4回定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の国際社会、国家主権や国際法などを理解できたか。 ・国際連合の役割、日本の外交政策などを理解できたか。
12	<p>(6) 地域紛争と人種・民族問題</p> <p>(7) 国境と領土問題</p> <p>(8) 日本の役割と私たちの生き方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人種や民族の違いをことさら強調することが、対立をまねき、紛争を惹起する一因となっていることを理解する。 ・領土をめぐる国家間の対立の歴史的背景、現状などを理解する。 ・日本外交の現実と問題点を理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の領土問題や地域紛争の現状を理解できたか。
1	<p>第5章 現代の経済社会と私たちの生活</p> <p>(1) 経済と私たちの生活</p> <p>(2) 経済体制の変容</p> <p>(3) 現代の企業</p> <p>(4) 市場のしくみ</p> <p>(5) 経済成長と景気変動</p>	<p>第5章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資本主義制度の変容や社会主義の考え方について理解する。 ・株式会社、企業の社会的責任について理解する。 ・価格機構のはたらきを理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・経済体制の特徴、企業の役割、市場の機能などを理解できたか。
2	<p>(6) 財政のしくみと税金</p> <p>(7) 金融機関のはたらき</p> <p>(8) 戦後の日本経済のあゆみ</p> <p>(9) 日本経済の現状と展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財政政策は何のために、どのように行われるか理解する。 ・資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割を理解する。 ・戦前の日本経済の特徴、高度経済成長など戦後の日本経済のあゆみ、バブル崩壊から現在までの状況を理解する。 	第5回定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・財政の役割、金融政策、戦後日本経済の変遷と現状を理解できたか。
3	<p>(10) 技術革新の進展と産業構造の変化</p> <p>(11) 中小企業の現状と役割</p> <p>(12) 食の安全とこれからの日本の農業</p> <p>(13) 雇用と労働問題</p> <p>(14) 労働環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の発展が産業構造を高度化させたこと、経済を牽引してきた産業分野の変化等を理解する。 ・中小企業の現状と役割を理解する。 ・現代の日本農業の特徴と課題を理解する。 ・労働者が憲法や法律で守られている理由と、雇用事情の変化を理解する。 ・労働条件のいっそうの改善が求められていることを理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の役割と現状、現在の雇用状況や労働条件改善の必要性など理解できたか。